

よさのみらい会議 実施報告書

与謝野町産業振興会議 編

2022.08.31 [WED] 19:00-20:45 | 岩滝保健センター

実施概要

日時等 | 令和4年8月31日(水)
19:00-20:45

場 所 | 岩滝保健センター 会議室1・2

目 的 | 関係者の皆さんの声を第2次総合
計画に反映すること

対 象 | 与謝野町産業振興会議
(16人参加)

関係者の皆さんの元に出向いて、第2次総合計画の見直し
についての意見を伺う、お出かけ版の「よさのみらい会
議」を与謝野町産業振興会議において開催しました。

同会議では、現在「中小企業振興基本条例」の見直しに向
けた議論を展開されており、その方向性を後期基本計画に
反映させる必要があります。

また、令和3年度にまとめられた「地域経済分析報告書」
では「地域内経済循環の実現」が今後の方向性として示さ
れていることから、当日は、委員16人が3つのテーブルに
分かれ、「地域にお金をまわす」をテーマにワークショップ
を実施し、地域経済活性化に向けて対話を深めました。



いしして
はめあがる。
いしして
地域のものを
買う

よさのみらい会議（産業振興会議編）ワークシート

B

班

地域にお金を回す活動

つながりが
ある。

どのような活動を行っていますか
なぜ地域外で商品やサービスを
買うのか？

町内には
ない商品が
多数ある

多様性
と
自分らしい
生活

刺激と
冒険心

クオリティ
(高)

採りやすい
商品がある

町内の商品
サービスが得ら
れない(不足)

ネットで買おう
人が少ないから
買えない

ネット販売
の購入

値段
(安い)

安い
商品が多い

良い物(サービス)が
少ない

地域にある商品
があるため

ドライブがてら
便利な
地域へ
足をのばす

地域外から
買う方が安い

個人所得が
低い

アイデア

町内にお金を回すアイデア

値段も品質も
いいものを買う。
クオリティを
上げる。

本物に
触れる

地産地消
商品を作る

よめいにはない
商品、サービスも
つくる、考える。

ファンを作る。
(その会社から
買いたい)

日本一
になるサービス
を提供する。

地域と
町民の
交流

人が
来る、行く

町民に
よりそう。

安く売る
X

楽しむ
おもしろさ、
価値がある。

交流の
必要性
(売場)

100%
と決めた町民
に協力して
雇用する

飲食店
X
生産者
をつなぐ

町外から
金をつぎよ

漏れ
防止

アイデアを実現するには

わたしには何ができますか

～2026年

～2040年

1人1人
意識する。

ゴミの分別
(ゴミの削減)
SDGs

いろいろな
人を知る

～2026年

～2040年

協力してもらいたいですか

どんな役場であつたらよいですか

～2026年

～2040年

そもそも
役場が
町民と
出会う

助成金
を充実
(金、割引)

ネットワー
ク作り

移住施策
実家
子ども世帯
人増

機会を
作る
(イベント)

町民は
通
わたり
やすい

大きな
企業(会社)に
お金をよめる。

よさのみらい会議（産業振興会議編）ワークシート



班

地域にお金を回す活動

どのような活動を行っていますか

買い物
天橋立
ビーチサイドバー
阿蘇ヒップ
地元産品に
注意を払う
中尾第2期
の理念にそった
制度設計
ホップの
大次産業化
地元産品を
買う使え
米・野菜
は農家から
購入
地域の食材
で料理
店を出す
電気
(オムレツ
エナジー)
フリーマーケット
地元産品の
開発
格安sim
(おまほ
のちとり)

アイデア

町内にお金を回すアイデアを考えてみましょう

エネルギー
年産100%
ビレッジ
資産運用
財団
スタートアップ
事業者の
応援(助成)
ふるさと
納税
給与の1%
相当分を
くまのこども
まらぐるの
拡大版
(町内の
企業連携)
事業者の
努力
ふるさと
納税
公共工事
を増やす
加税
フォーマーズの
規模拡大

アイデアを実現するには

わたしには何ができますか

～2026年

～2040年

納税

町内消費
を常に意識
すること

給与の1%
を地域振興
に使う

地元の産品
に投資

誰に協力してもらいたいですか

～2026年

～2040年

住民の
皆様
地元の
企業

外から
移住者

地元出身者
の人

どんな役場であつたらよいですか

～2026年

～2040年

ふるさと
納税
2倍

住民と役場
の意見が
見える

柔軟な
組織

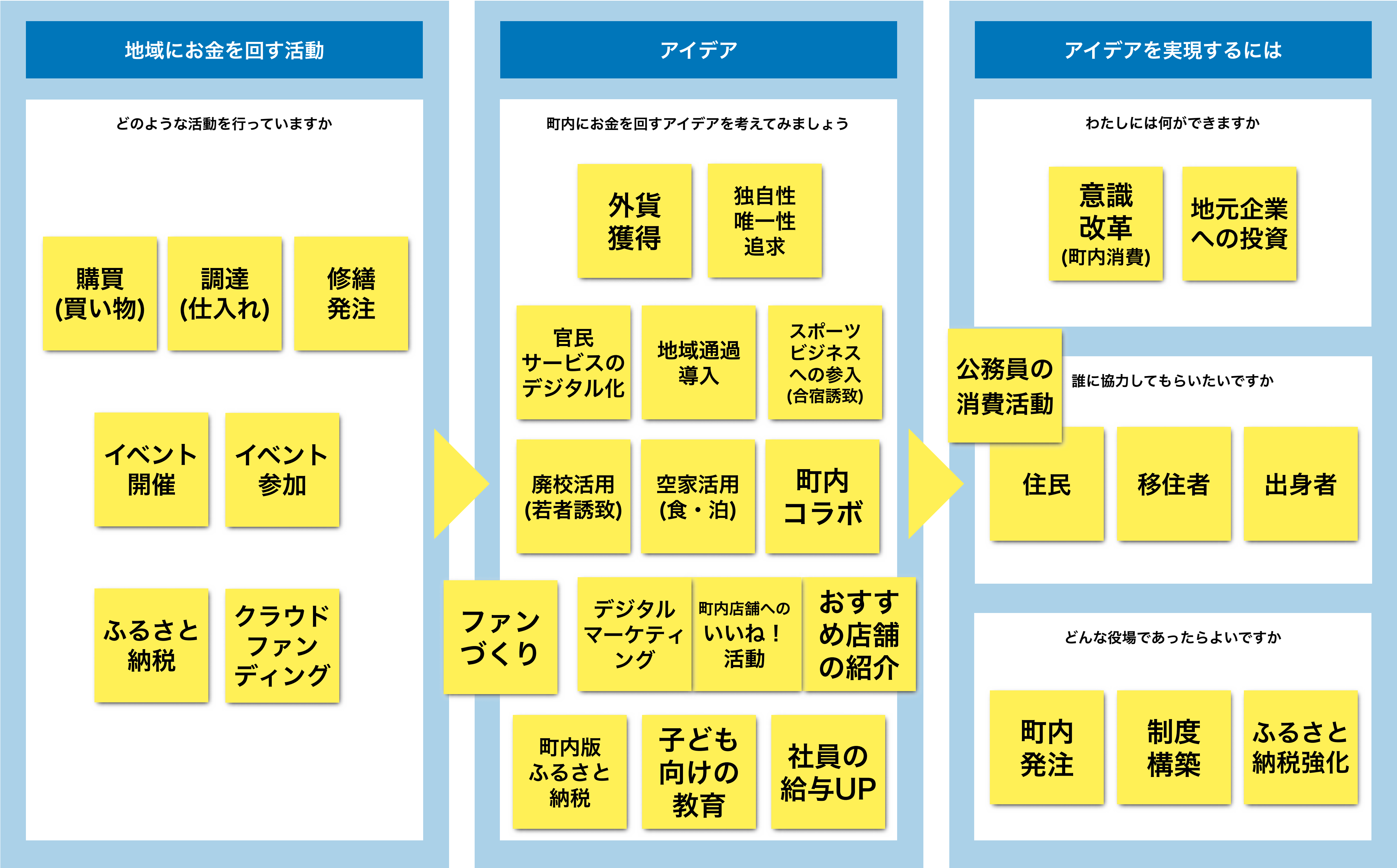
ビジネス
を示す

あだのな
役場

キーワード抽出

テーマ

地域にお金をまわす



主な意見・アイデア（施策との関連付け）

※1 まちグル
町内の生産者と飲食店が協業して実施しているグルメイベント

分野1-1 | チャレンジできる担い手の創出

- ・ スタートアップ事業者の応援
- ・ やる気のある企業への補助金支援
- ・ 行政は旗ふる人たちを支援・応援する（旗をふらない）
- ・ 子どもたちへの教育の推進（地産地消、地域内循環の意識づけ）

分野1-2 | 農業の振興

- ・ 与謝野町産100%ビールの製造で外貨獲得

分野1-3 | 商工業の振興

- ・ 与謝野にしかない選ばれる商品やサービス（高いクオリティ、本物）を提供し、ファンをつくる
- ・ 地域循環経済を町民一人一人が意識する
- ・ 生産者と飲食店（まちグル※1）のコラボ推進
- ・ ふるさと納税を増やすため、新商品（返礼品）づくり取組み強化
- ・ 商店街団体のポイントや地域通貨による給与の一部支給

主な意見・アイデア（施策との関連付け）

※1 クラウドファンディング

インターネット上で不特定多数の人に資金提供を呼びかけ、サービスや商品の趣旨・個人の想いに賛同した人から資金を集める方法

分野1-5 | 情報発信・流通ネットワークの強化を通じたビジネス環境の整備

- ・ 公助による事業者同士のマッチングや販売等の機会づくりを求む
- ・ 生産者×飲食店にとどまらない「まちぐる」の拡大版の展開（町内企業連携による商品開発等）
- ・ 町内通貨の導入
- ・ 官民が一体となったデジタルサービスの提供
- ・ クラウドファンディング※1プラットフォームの整備
- ・ デジタルマーケティング強化（町民による町内各店舗へのいいね！活動）

分野1-6 | 魅力ある働く場の創出

- ・ 社員の給料を上げて、前向きにする
- ・ 町在住の方を雇用する
- ・ 旧小学校の活用による若者の集まる場づくり
- ・ 空き家を活用したレストラン・民宿事業の展開

主な意見・アイデア（施策との関連付け）

分野2-1 | 魅力の認識及び「よさの者」づくり

- ・ 町民が必ず新店舗に行く、新商品を買ってみんなで応援する仕組みづくり
- ・ ふるさと納税を増やすため、新商品（返礼品）づくり取組み強化 ※再掲
- ・ 来訪者への町内店舗、魅力、コンテンツの紹介（クチコミ活動）

分野2-2 | 魅力を体験・体感できるコンテンツの開発

- ・ 生産者と飲食店（まちグル）のコラボ推進 ※再掲
- ・ 旧小学校の活用による若者の集まる場づくり ※再掲
- ・ 空き家を活用したレストラン・民宿事業の展開 ※再掲

その他

- ・ 地域内での再生可能エネルギーの取組推進
- ・ 地域内での資産運用の推進（財団等による運用）
- ・ 公共事業を増やし、町内事業者の受注機会を増やす
- ・ 町がまちづくりビジョンを示せば、企業は企業の役割を果たすのでは（商助）
- ・ 町民も町に寄付できる「町内版ふるさと納税」制度の構築